第10回九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム投稿申込票

（太線枠内のみご記入ください)

|  |  |
| --- | --- |
| 論文名 | (執筆言語） |
| (英語，執筆言語が英語の時は不要) |
| 希望する投稿形態（どちらかに○→）　 ［　　］a. 論文＋概要　　［　　］b. 概要のみ |
| 発表方法（予定可）（どちらかに○→）　［　　］会場で発表　　［　　］オンラインで発表 |
|  |
| 著者名 | 氏名(発表予定者は氏名の前に「○」をつけて ください) | ローマ字綴り（氏名がローマ字の場合は不要です．） | KABSE会員区分（学生・個人・法人・非会員）見込みの場合は「見込み」と記入 | 所属および職名もしくは学年大学・高専以外の方は所属のみで可． |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 学生の発表予定者は期限までに，学生会員資格を得てください．会員資格の取得方法はKABSEウェブサイト（http://www.kabse.com/）で確認ください．著者欄が足りない場合は，行を増やしてください．その結果，申込票が2ページになってもかまいません． |
| 発表者連絡先 | 発表者氏名 |  | 学生会員番号 |  |
| E-mail携帯メールは不可 |  |
|  |  |
| 論文概要（300字～400字程度） |
| 研究の背景よりも，研究内容を詳しく記入してください． |

九州橋梁・構造工学研究会シンポジウム投稿申込票（見本）

（太線枠内のみご記入ください)

|  |  |
| --- | --- |
| 論文名 | （執筆言語）1970年代の設計基準で製作されたRC橋脚の耐震安全性評価 |
| (英語，執筆言語が英語の時は不要)Seismic safety evaluation on an RC-pier made by the design specifications in 1970s |
| 希望する投稿形態（どちらかに○→） ［ ○ ］a. 論文＋概要　 ［　　］b. 概要のみ |
| 発表方法（予定可）（どちらかに○→）　［ ○ ］会場で発表　　［　　］オンラインで発表 |
|  |  |
| 著者名 | 氏　名(発表予定者は氏名の前に「○」をつけてください) | ローマ字綴り（氏名がローマ字の場合は不要です．） | KABSE会員区分（学生・個人・法人）見込みの場合は「見込み」と記入 | 所属および職名もしくは学年大学・高専以外の方は所属のみで可． |
| 梶田　幸秀 | Yukihide Kajita | 個人会員 | 九州大学・准教授 |
| ○伊藤　耀 | Yo Itoh | 学生会員 | 九州大学・博士２年 |
| 服部　匡洋 | Masahiro Hattori | 学生会員（見込み） | 九州大学・修士１年 |
| 宇野　州彦 | Kunihiko Uno | 非会員 | (株)五洋建設 |
| 学生の発表予定者は期限までに，学生会員資格を得てください．会員資格の取得方法はKABSEウェブサイト（http://www.kabse.com/）で確認ください．著者欄が足りない場合は，行を増やしてください．その結果，申込票が2ページになってもかまいません． |
| 発表者連絡先 | 発表者氏名 | 伊藤　耀 | 学生会員番号 | ＃＃＃＃＃ |
| E-mail携帯メールは不可 | \*\*\*\*\*@\*\*\*\*.ac.jp |
|  |  |
| 論文概要（300字～400字程度） |
| 本論文は，1970年代の設計基準で製作されたRC橋脚の耐震安全性評価について検討したものである．対象地震動として，1995年兵庫県南部地震で観測されたJR鷹取波と2011年東北地方太平洋沖地震において観測されたK-net古川波とした．いずれの地震波も，そのフーリエスペクトルにおいて，周期1秒前後が卓越する地震波である．地震応答解析の結果，十分な帯鉄筋量を有していないことも有り，いずれの地震動においても橋脚は曲げ破壊することがわかった．（219文字）あと，100文字程度記入してください．研究の背景よりも，研究内容を詳しく記入してください． |